

保存版！

# どう見る？検査結果解説！

健康診断や病院での検査結果、もらっても何がなんだか分からない ...

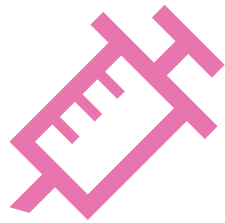
数値の横にHやLの文字 ... 一体これって大丈夫なの！？

健康診断で要精査だったけど、面倒だから放っておいてもいいよね！？

これを見れば丸わかり！！保存しておいて健康診断等にも役立つはず！



## 血液検査



血液検査では多くの体の異常が分かります。

貧血、肝臓の異常、腎臓の異常、高脂血症、糖尿病などの病気の発見にも繋がります。

それぞれ体内でどんな役割をしているか等、今回は当院で行なっている検査の一部をご紹介します

### ALB アルブミン

アルブミンは血液中の水分をとどめて血管内の浸透圧を維持したり、血管内の物質の運搬や保持するのに必要です。

アルブミン量が低下すると、血管の外に水分が漏れ出るため、全身のむくみ、お腹や胸に水がたまるなどの症状を引き起こします。

肝機能

### AST,ALT エーエスエーティ エーエルティ

AST、ALTが基準値を超えると、脂肪肝・急性肝炎・慢性肝炎などが疑われます AST は、心臓や筋肉に多いため、ASTの上昇が顕著な場合は、心臓の病気や筋肉の疾患の可能性もあるため、他の項目と併せて総合的に診断する必要があります。

肝機能

### γ-GTP ガンマ ジーティーピー

基準値を超えると、アルコール性肝障害・脂肪肝・胆道系の病気が疑われます。

服薬中の方は薬の成分が影響していることもありますので、異常値が出た場合は、健診結果を主治医に報告するようにしましょう。

肝機能

### TP 総たんぱく質

総蛋白とは血清中の蛋白濃度のこと。血液中のさまざまな物質を運んだり、体液の濃度を調整する働きをします。

肝・心・腎疾患ならびに体の栄養状態をみることができます。

肝機能

### LDL コレステロール

基準値を超えて高くなると、余ったLDLは血管壁に蓄積し、動脈硬化を進めることになり、高血圧、狭心症・心筋梗塞、脳梗塞の原因になります。

脂質

### HDL コレステロール

血液中の余分なLDLを回収し、また血管の壁に付着しているLDLを取り除き、肝臓へ戻してくれます。HDLは、動脈硬化を防いでくれます。

脂質

## 血小板

出血を止める働きがある。  
数値が低い場合は白血病や肝硬変などが疑われるが、高い場合は、鉄欠乏性貧血や出血などが考えられる。

採血一般

## Hb ヘモグロビン

血中の酸素を運ぶ働きがある。  
数値が低い場合、貧血または出血が疑われます。逆に、数値が高いと多血症と診断されます。

採血一般

## UA 尿酸

たんぱく質の一種である、プリン体を代謝した際に生じる老廃物。尿酸が高い状態が続くと、結晶として関節に蓄積され、痛風発作を引き起こす。

尿酸

## BUN 尿素窒素

体内でエネルギーとして使われたたんぱく質が分解されるときにできる老廃物。  
腎臓の排出機能が低下すると血中濃度が高くなります。

腎機能

## CRE クレアチニン

体内でエネルギーとして使われたたんぱく質が分解されるときにできる老廃物。  
腎臓の排出機能が低下すると血中濃度が高くなります。

腎機能

## HbA1c ヘモグロビンエーワンシー

過去1～2ヵ月の血糖のコントロール状態（平均血糖）を知る検査。  
検査当日の食事の影響を受けません。

糖尿病



# 血圧について

20歳以上の国民2人に1人が高血圧原因は、塩分の取りすぎ、肥満、飲酒運動不足... あなたの血圧は大丈夫？

血圧は高いとなぜ危ないのでしょうか？

血圧が高い状態が続くと血管に常に負担がかかり、血管の壁は次第に厚く、硬くなっていきます（高血圧による動脈硬化）。動脈硬化は全身で起こり、脳出血、脳梗塞、大動脈瘤、腎硬化症、心筋梗塞などの原因になります。また、心臓にも負担がかかり、心肥大が起こり、心不全になることもあります。命に関わる合併症を引き起こしやすくなります。

	基準範囲	要注意	異常
収縮期血圧	129 以下	130 ~ 159	160 以上
拡張期血圧	84 以下	85 ~ 99	100 以上

[単位 mmHg]



健診結果に要精密検査と要治療があるなあ...

健診結果で要精密検査や要治療の項目があった場合、すみやかに結果を持って医療機関を受診しましょう！  
また要経過観察の方も生活習慣を見直しましょう

